

2025年度 ニチキッズとくぎょう保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月13日（金）
	実施方法	職員会議にて、話し合いにより職場全体で共有。保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念のもと、おもいっきり遊びおもいっきり学びながら楽しむ中で、豊かな心が育まれる体験を大切にしながら、一人ひとりが主体的に活動できる環境設定を行うようにした。
子どもの発達援助	個々の発達段階を理解し、一人ひとりに合わせた関わりができるよう職員間で情報共有を重ねた。子どもたちの意欲や自信に繋がるような肯定的な言葉がけ、関わりを心がけている。
保護者に対する支援	保護者様が安心できるよう、その日の様子、体調等を丁寧に伝え、相談や悩みを共有できる温かな環境作りを大切にした。思いに寄り添いながら、成長を共に喜び、信頼関係を育んできた。
保育を支える組織的基盤	保育の質、意識の向上に向け、園での課題点や、目標を定期的な職員会議の場で共通理解を図り、実践に繋げた。また、個々のスキルアップに向けた、外部研修等にも積極的に参加したい。

総評
保育理念、保育目標に合わせた指導計画のもと、安心・安全な保育を目指し取り組むことができた。 「子どもの最善の利益」「安全」を考えた保育について、研修や話し合いを重ね、一人ひとりに寄り添う保育を大切にしてきた。とくに、子どもの人権について知識や理解を深め、子どもたちが主体的に経験を重ねていける保育を目指してきた。年間を通し食育活動にも力を入れ、食に関する興味や関心を深められた。保育と給食の連携の中で、心身の健やかな成長へと繋げることができた。次年度に向けても職員間で同じ目的意識を持ち、チームワークを大切にしながら、温かく寄り添う保育を展開していく。